

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0102011707010101	事務事業名	関平鉱泉水販売・管理運営事業		担当部	商工観光部
					担当課	観光課
政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり			担当課長	武田繁博
施策名	01	健全な財政運営の推進			グループ	関平鉱泉水販売所
基本事業名	01	歳入の確保			内線番号	78-2950
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	02 総務費				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 51 年度~)
	項	01 総務管理費				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)
	目	17 関平温泉施設費				根拠法令・条例等
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

関平鉱泉水販売所は、昭和51年に、市民及び一般来訪者の保養と福祉、併せて市民生活の向上・収入の確保を目的に設置され、鉱泉水の製造・販売を行っている。本事業では、販売所の施設管理及び鉱泉水の販売促進のため、宣伝・広報活動やクレームへの適切な対応を行うものである。
【鉱泉水】20L(1,000円)・10L(600円)・10L2個入(1,200円)・ペットボトル2L・500ml他
【主な販売促進手法】
・ポイントカードの作成 ・宣伝活動の実施 ・市内宅配サービスの実施・クレーム対応・HCCAP取得の取組
【営業時間】
・8:30から17:00まで(4月から9月までは18:00まで営業)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	宣伝活動の実施回数	回	15	15	15	15
イ	経営強化会議の開催回数	回	6	4	2	10
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 市民、顧客	人口	人	126,773	129,360	125,900	129,679
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 関平鉱泉水を適正な価格で購入できる。	関平鉱泉水の売上高	千円	293,185	400,000	285,948	400,000
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 受益に見合った使用料・手数料(利用料)、分担金等の負担をせらる	決算統計(04表)	億円	14	19	14	19
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和51年、市民及び一般来訪者の保護と福祉、市民福祉の向上を目的として設置された関平鉱泉水販売所の効率的な運営と販売促進を実施することを目的に開始された。市長より、財源確保として販売促進の要望がある。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	349,302	1,045,376	994,518	754,051
	一般財源	千円	0	0	0	0
事業費		千円	349,302	1,045,376	994,518	754,051

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
鉱泉水使用料 285,948,316円 関平温泉入浴用品売上 295,820円 関平鉱泉水送料売上 32,280,117円 基金繰入金 683,453,000円 基金利子 1,632,311円 その他 96,407円 計 1,003,705,971円	適正な施設管理と関平鉱泉水の知名度アップのためのPR活動、市内宅配事業を実施し売上の増加、迅速かつ確実なクレーム対応を行った結果、市民(顧客)に対して安定した鉱泉水の供給が出来た。 平成26年に着手した新工場・事務所棟は、平成28年5月末に竣工する予定であり、今後はより安心安全な鉱泉水の供給が出来るようになる。 平成27年度の利益:73,144,000円

事務事業コード	0102011707010101	事務事業名	関平鉱泉水販売・管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	適正な管理のもと、安心安全な関平鉱泉水を市民(顧客)が適正な価格で購入し愛飲してもらう事は、受益にあつた使用料・手数料(利用料)、分担金等の負担をしてもらうことに繋がりに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、収入の確保(負担金、補助事業の導入、自主財源の確保)を行う必要があるため、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	宣伝・広告を積極的に行うことにより、売上げの向上余地がある。若年層(20代から30代)の新規顧客を獲得し、経営の安定化を図る必要がある。 また、老朽化した販売施設を建て替え、利用者の利便を図れば、成果の向上余地がある
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	販売促進に関する事業を怠れば、鉱泉水の売上げが下がり、市の貴重な財源が不足する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	関平鉱泉水の知名度が上がり、販売額が湧水量を上回るようになれば、宣伝への費用は削減できる。また、クレームに関しても製造での品質管理を強化するとともに、利用者への使用方法の周知を実施することにより、件数を減らし、結果的に事業費を削減できる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本事業は、最低限の事務であり、削減の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数が対象となり、安心安全な関平鉱泉水を提供することにより、市民(顧客)からも販売代金を徴収しているため、公平性は保てる。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善・コスト縮小 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	関平鉱泉水の売上は年々減少傾向にある。若年層を含む新規顧客獲得と販売店の拡充が必要である。平成28年5月に竣工する新工場での鉱泉水製造と新販売管理システムの運用を軌道に乗せる。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	安心安全な鉱泉水を安定的に供給し、販売促進を図り売上アップを目指す。販売促進策として、自社ホームページの作成とクレジット決済システムの構築を検討し、新規顧客の獲得を図る。また、効果的なPRの実施と市内宅配サービスを継続する。特産品販売所を含む関平鉱泉水所を無事にオープン(グランドオープン)させ、霧島市の観光拠点として市民や来訪者が楽しめる空間を創造する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

